平成26年度　指定管理者施設管理評価シート

部	教育委員会事務局	課	児童保育課

施　設　名　称	〔43〕	東京都台東区立寿児童館		
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1	～　H27.3.31

１．指定管理者の概要

(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。
(2)類似施設の管理実績	児童館７館、１５こどもクラブ（平成２３年末まで１３こどもクラブ）
(3)経営状況	（25年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,763,451,917円,　支出2,624,027,474円, 収支差額139,424,443円

２．施設の概要

(1)所在地	台東区寿１－４－５
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前９：３０～午後６：００、日曜日（第三日曜日を除く）：午前９：３０～午後６：００一部開放。 休館日　年末年始、祝祭日（５月５日は開放）
(5)規模	ＲＣ地上３階地下２階建て　遊戯室・図書室・図工室・集会室兼小遊戯室・こどもクラブ室等
(6)人員体制	常勤職員３名、短時間職員５名

３．事業（サービス提供）の概要

(1)委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと④その他、児童館の目的達成のために必要な事業
(2)自主事業	自主事業は行っていない。

４．予算決算の推移

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	38,579,000	42,570,000	42,568,000	42,500,000	42,336,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	38,579,000	42,570,000	42,568,000	42,500,000	42,336,000
決算	委託料	36,146,675	36,790,997	35,546,742	42,437,314	42,031,576
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	20,000	0	10,000	651,334
	管理経費	36,146,675	36,810,997	35,546,742	42,447,314	42,682,910
	収支	0	0	0	0	0

５．施設の稼働状況等（活動指標）

指　標　名　称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
開館日数	日	334	335	334	333

６．成果指標

指　標　名　称	単位	目標値（27年度）	23年度	24年度	25年度
利用者数	人	53,000	47,144	45,800	51,336

７．平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

①パーテーションや遊具の配置を工夫し、乳幼児と小学生が同じ部屋を共有できるように配慮した。
②高学年にリーダー的な役割を持つ機会を作った。また、乳幼児から小学生、中高生へと利用が継続するよう、各部屋の遊びを毎月変えて提案するなど、日常の遊びの充実を図った。
③民生委員児童委員協議会との共催により、25年度新たに7館合同の下町こどもまつりを実施した。

８．評価項目

3：協定等の水準を上回っている。　0：協定等の水準を下回っている。
2：協定等の水準どおりである。　-：評価対象外項目。
1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[-]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[3]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

９．評価

S（水準以上）　：　協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
A（適正）　：　協定等の水準を満たす管理が行われている。
B（一部課題あり）　：　協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
C（課題あり）　：　協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
D（水準未満）　：　協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	各部屋の遊びを毎月変えて提案するなど、日常の遊びの充実により、高学年や中学生の利用も増え、異年齢集団での遊びが活発になった。また、保護者向けの事業も行い、父親参加を促すなど幅広い活動を行っている。
(2)施設の維持管理	A	利用者の目につかない箇所も定期的に点検し、破損や故障を未然に防ぐなど、全館の施設管理を徹底している。 乳幼児の遊具や子ども達が触れる場所の消毒を徹底し、衛生管理にも努めている。
(3)利用者の満足度	S	行事の開催方法や定員の設定、遊具の充実など要望に応えて改善した。また、高学年の利用が増え、入館者数が増加している。地域懇談会や夕涼み会を通して、地域の関係団体との連携を図っている。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進し、消耗品の一括購入、長期契約などの経費節減、事務の効率化を図った。

１０．総合評価

良好　妥当　要努力　要改善　不適

妥当

乳幼児や幼稚園児親子から小学生、中高生まで利用者層に対応した部屋の使い方、時間による区分けによりそれぞれが満足できる環境整備を行った。また、異年齢が交流できる遊びの充実により利用者数が増加している。

１１．平成26年度評価結果に対する今後の対応

・乳幼児親子から小学生、中高生まで幅広い利用者層に対応した部屋の使い方、時間による区分けなどをさらに工夫する。
・父親を含めた保護者の利用が増加していることから、保護者向けの活動にも力を入れ、児童健全育成の意識を共有していく。
・地下2階から3階、屋上も含めた施設全体の安全管理に努め、清掃・消毒などの衛生管理を引き続き徹底する。